

# 脱炭素社会における燃料安定供給対策事業

## 令和3年度補正予算案額 180.0億円

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- 2035年乗用車新車販売の電動車100%化目標を受け、国内ガソリン需要の減少が一層加速するとともに、人手不足の深刻化が見込まれます。他方、HV等への給油や停電時の医療機関等への燃料緊急配送等、石油製品の供給は日々の国民生活や経済活動、さらには激甚化・頻発化する災害時の対応に不可欠です。
- こうした中、EV等の新たな燃料供給に備えつつも、ガソリンなどの既存の燃料需要に対して安定供給を継続するため、S Sの供給継続に資する設備の導入を支援します。

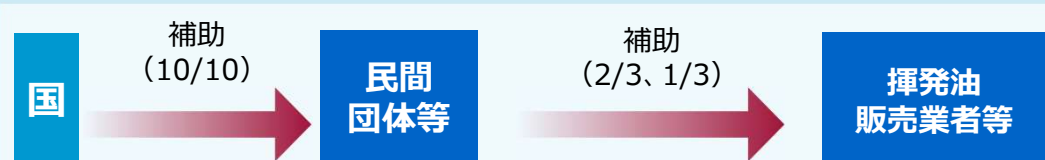
#### 脱炭素社会における燃料安定供給対策

脱炭素社会における事業見通しを策定することを前提として、S Sのデジタル化に資する設備や配送効率化に資する設備、計量器や地下タンク・配管などの設備等への設備投資を支援します。

#### 成果目標

- カーボンニュートラル社会に向けたS Sの事業再構築を図り、今後も残り続ける石油製品の需要に対して安定供給を確保できる体制を確保します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### 脱炭素社会における燃料安定供給対策

##### 【事業イメージ】



ペーパー回収設備

大気中に放出されるガソリンペーパーを回収することで、PM2.5等の大気汚染物質を抑制。また、回収したガソリンペーパーを、圧縮・冷却することで液化させ、再利用することで経済性を向上。



給油許可に用いるタブレット端末型装置  
(可搬式の制御装置)

給油許可システムをデジタル化することにより、S Sスタッフの省人化等の業務効率化に貢献。



灯油タンクスマートセンサー

タンク内の在庫情報を取得。在庫情報をモニタリングすることで、最適な配送タイミングを把握し、効率的な配送を実現。